

栃木県農業大学校 キャンパスガイド 2023



【教育方針】 優れた農業経営者等を育成するため、専門性の高い知識、技術や経営管理能力が修得できるよう、栽培や飼養管理及び経営管理等に関する講義・実験と実習の履修時間を概ね50:50の割合で実施しています。また、仲間づくりや責任感・協調性を育むため、農業生産学部1年次を全寮制としています。

農業生産学部

農業総合学科

■作物専攻…水稲・麦・豆類等

・水稲は高密度播種苗栽培など低コスト・省力化技術に取り組むほか、ICT技術として水田センサーを活用した水田管理も行っていきます。
・パンや麺用小麦、もち性大麦、豆類やそばの栽培管理技術を学ぶほか、収穫物の加工についても取り組んでいます。

■露地野菜専攻…ねぎ・たまねぎ等

・機械化一貫体系による玉ねぎ、ねぎを中心に季節の露地野菜の栽培管理技術を学びます。
・ICTなどを活用した効率的な栽培技術や環境に配慮した栽培方法の検討なども行っていきます。

■施設野菜専攻…いちご・トマト等

・いちごは「とちおとめ」「スカイベリー」「とちあいか」など、県の開発した品種を取り入れ、様々な栽培方法(土耕・高設等)での栽培技術を学んでいます。
・トマトは次世代型最先端(高軒高)ハウスで土耕栽培による促成長期栽培と、一般的なハウスで養液(ロックウール)栽培による冬春トマト栽培を行っています。

■花き専攻…シクラメン・あじさい等の鉢物、きく・カーネーション、ゆり等の切り花

・切り花や鉢花、花壇用苗ものを中心として、様々な花き類の生理生態や生育ステージに応じた管理方法を学びます。
・花きハウスに省エネルギー対策として「地中熱ヒートポンプシステム」を導入しています。県が開発した新品種の栽培を積極的に取り組んでいます。

■果樹専攻…なし・ぶどう・りんご等

・「盛土式根圏制御栽培」という早期成園化・早期多収が可能となる栽培方法など、本県開発の革新的技術をなし・ぶどう・ももで学びます。
・グローバルGAPの認証を「日本なし」で取得しており、食品安全・労働安全・環境安全に配慮した生産工程管理について学ぶことができます。

畜産学科

■酪農・肉用牛

・ICT技術を駆使した新牛舎(ドリーム牛舎)を活用して、乳用牛及び肉用牛の飼養管理や人工授精・飼料作物栽培等、魅力的な畜産経営を学んでいます。



いちご学科

いちごの産出額及び生産量日本一を誇る「いちご王国」栃木県の優れた技術と高い経営能力を持ち、将来地域のリーダーとなるいちご経営者を目指す農業者育成のため、ICT活用による最先端のいちご栽培技術や、経営者に求められる知識の習得、先進的いちご農家での実践的な実習等、最新の栽培技術と知識を学びます。



【各学科共通】

- GAP(農業生産工程管理)についての知識・実践力を修得します。
- 作物の生理・生態的特性や栽培環境を理解し、栽培技術及び経営管理の為の知識・技術を修得します。
- 作物の生産性を考慮した土壌及び肥料の知識を修得します。
- 食品の安全性や農畜産物の加工法・保存法などの知識を修得します。
- 農畜産物のマーケティング等に関する知識を修得します。
- 農業機械の安全・効率利用に関する知識・技術を修得します。
- 自ら生産した農畜産物を加工まで学習させ、6次産業化に対応できるための知識・技術を修得します。



研 修 科

【研修方針】 農業の担い手を目指す意欲のある者を対象として、農業経営に必要な基礎知識や専門的な栽培技術の研修と、経営の高度化を目指す農業経営者を対象として、ビジネスプランニング等資質の向上を図るための研修を行います。また、農業機械の技術者養成のための研修を行います。

■就農準備校「とちぎ農業未来塾」

農業経営に必要な基礎知識や専門的な栽培技術の研修
○就農準備基礎研修
○就農準備専門研修I・II

■先進的農業経営者養成研修「とちぎ農業ビジネススクール」

需要に即した商品づくりや、農業者自らが販路を切り拓くなど経営の高度化を目指す農業者を対象に実践的な研修を行い、本県農業をリードする先進的な農業経営者を育成する。

■農業機械研修

農業機械を計画的・効率的かつ安全に利用できる技能者を養成するための研修
(前期) 農業機械士の資格を取得 (後期) けん引免許を取得



Let's study!



Let's study!



「計画を立てて研究する!」 北原 将悟 (写真中央) 作物専攻

私が専攻する水稲では、一人一人が栽培計画を立て、基本的な栽培技術を学び、またICT技術の水田センサーを利用しながら水稲を栽培し、機械による作業や生育・収量及び品質などの調査を行っています。

私は食用米に興味があったので、栃木県で多く栽培されている「コシヒカリ」を低コスト・省力化できる高密度播種苗栽培を用いて、特性の把握、収量・生育について、慣行栽培との違いを研究しました。初めての栽培だったので水田専攻のメンバーで協力しながら行いました。

次世代型園芸人材育成施設

「園芸大国とちぎづくり」の一翼を担う意欲ある人材の育成を図るため、先端技術を用いた園芸の育苗施設をはじめ、機械化一貫体系による露地野菜の生産を実践的に学ぶことができる教育環境を整備しています。



「花の授業で得られたこと」

藤田 ミレナ

花き専攻

私は、高校の授業をととして学んだ花の知識を更に深めたいと思い農大の花き専攻に入学しました。農大では、座学と実習をバランスよく受けることができます。座学では、花の特性や栽培方法を学び、実習では、授業で習った知識を活かしながら花の栽培管理を行っています。他にも、土づくり、施設や機械の点検など花を栽培していく上で重要な事を細かく教えてくれます。卒業論文では、ランタンキュラスを取り上げ、栽培を行いながら疑問に思ったことを課題にしようと考えています。



「農業を一から学べる!」 佐藤 風早 (写真左から3番目) 露地野菜専攻

私は露地野菜専攻で、たまねぎ、ねぎを中心に露地野菜の栽培方法を学んでいます。実習では、実際に機械を操作して、土寄せ、畝立て、定植、農薬散布を行っています。機械で行う作業は難しく、初めて畝を作った際には曲がってしまいました。しかし先生のアドバイスをいただき、慣れるとコツを掴んでまっすぐに畝を作れるようになりました。専攻の仲間といろんな機械の操作を経験し、日々上達していることを実感しています。これからも農大で農業を一から学んでいきたいです。

次世代型トマトハウス(高軒高)ハウス

高軒高ハウスは、ハイワイヤー栽培によるトマトの促成長期栽培が可能で、高収量が見込める先進的なハウスです。

ICT技術を活用した複合環境制御やスマートフォン等による栽培環境データの把握が可能で、学生・研修生は先進的な栽培技術を学ぶことができます。



「様々な果物の栽培を学べます」

柴原 優

果樹専攻

果樹園では様々な品目を栽培しており、それぞれの栽培管理を学んでいます。管理作業は品目ごとに異なるので覚えることが多く大変ですが、高校では扱ったことのない果樹も経験できて面白いです。また、果樹専攻では学生みんなで一緒に作業する実習が多く、ほ場管理作業などを協力してやっています。なしやりんごの受粉や摘果、ぶどうの雨よけビニール張りなど、みんなで力を合わせて取り組んでいます。根圏制御栽培など最新の栽培技術も体験でき、充実した実習ができます。



「最新技術を学ぶ」 菅沼 未奈

施設野菜専攻

私は、トマト栽培において、摘葉枚数の強弱が果実の品質や収量・生育に影響があるのではないかと卒業論のテーマにしました。調査ハウスは低軒高ロックウールハウスを使用しました。結果として生育については極端な差がなく、収量については摘葉弱が摘葉強よりも収量が多くなることわかりました今回は低軒高ハウスでの調査でしたが、今後は高軒高ハウスにおいて調査してみたいです。



ドリーム牛舎での飼育管理

Let's study!

「農大で自分探しています。」

荒木 麻衣

畜産学科

私は、高校で牛の飼育管理の楽しさを知り、もっと技術や知識を高めたいと思い農大に入学しました。農大の実習では搾乳をしたり、生徒が機械に乗って除糞をしたりするなど高校で体験したことがないことばかりで慣れるまで大変でしたが、今ではとても楽しく実習することができています。

また、農大では、家畜人工授精師などの牛に関わる資格やトラクターやけん引などの機械の免許も取ることができます。将来への不安はありますが、農大での実習を楽しみながら自分がやりたいことを見つけ、実現できるように努力していきたいです。



ドリーム牛舎の施設概要

- ・フリーストール牛舎
- ・ミルクパーラー方式の搾乳施設
- ・ICT機器:養牛カメラ(監視)、牛恩恵(分娩管理)、牛歩(発情管理)、個体の管理状況をスマホやパソコンに通知するシステム
- ・飼料用トウモロコシの播種からサイレージ調製機械の整備

「ともに学び ともに進む」

黒子 綾太

いちご学科

私はいちご学科で、いちごの基礎知識や栽培管理、外部講師による経営学やリーダーシップ論など、いちご経営に必要な知識を学んでいます。授業を受けていけばいちご栽培の一連の流れやいちごの生理生態が分かってくると思いますが、それだけでは不十分なので自分で積極的に勉強する必要があります。また、2年生になったら本格的に就農準備が始まり忙しくなるため、1年生のうちいちごに関する本を読み込んでおくことをお勧めします。様々な世界情勢で新規就農が難しくなっていますが、いちご学科2年生6人で仲良く、励まし合いながら活動しています。

特典および資格取得

1. 専門士

卒業生には、「専門士(農業専門課程)」の称号が付与されるほか、人事院規則により「短大二卒」相当とみなされます。

2. 大学編入

卒業見込者は、4年制大学の3年次への編入学の受験資格が得られます。

3. 資格取得

次の資格免許取得支援のための授業を行います。

- 全学科共通 >>> ●農業機械士 ●大型特殊(農耕車)免許 ●けん引(農耕車)免許
 畜産学科 >>> ●家畜人工授精師
 資格取得教養講座 >>> ●毒物劇物取扱者(一般・農薬用品目) ●危険物取扱者(乙種第4類・丙種)
 ●日本語ワープロ検定(日検2級~4級) ●文書デザイン検定(日検2級~3級)
 ●情報処理技能検定(日検3級~4級) ●簿記(日商簿記検定3~4級)
 校外受講の斡旋 >>> ●フォークリフト運転技能 ●アーク・ガス溶接技能

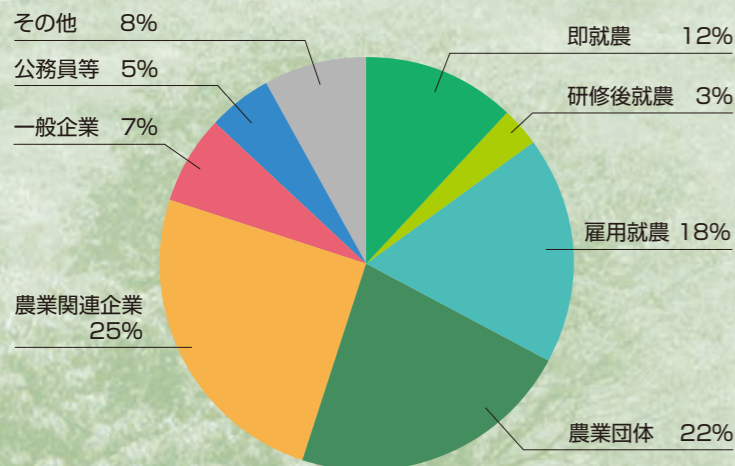


経費等

- 入学金 5,650円
- 授業料 年額 124,800円
- その他の経費 教科書代、校外学習費、寮生食費(1年)、学生自治会費、後援会費等(学部学科により該当しない経費も含まれています。)
1年 年間 約 400,000円 2年 年間 約 120,000円
- その他 ・本校在校生は、日本学生支援機構の奨学金が利用できます。
①給付型奨学金(返済不要) ②貸与型奨学金(無利子・有利子)
※①の給付型の採用を受けた学生は、授業料等の免除が受けられます。
・本校は、栃木県が認める次世代農業人材投資事業(準備型)の研修機関であり、本校在校生のうち、新規就農希望者(雇用就農を含む)で一定の要件を満たす者は、最長2年間、原則、年間最大150万円の給付対象となります。

令和4年度卒業生の進路

(2023.3.17現在)



【主な雇用就農先】

Farm大越 菅谷農産 全農飼料畜産中央研究所
 (株)神長ファーム (株)畜産経営研究所
 伊藤忠飼料(株)研究所 JA全農南那須牧場
 (有)田村養豚場

【農業関連団体・企業・公務員等就職先】

JA宇都宮 JA塩野谷 (株)JAエルサポート
 JA全農とちぎ 酪農とちぎ 鹿沼市花木センター
 牛群検定組合 花裕 東一宇都宮青果市場
 関東農産 荒井商事 (株)中セキ関東甲信越
 (株)関東甲信クボタ 柳屋米穀肥料店 (株)アキモ
 ゆいの杜ガーデンセンター 新生酪農(株)
 JTクリエイティブサービス 東京フード
 ジャパンエコロジーシンキング 農研機構 栃木県

寮生の1日

※入寮は原則として農業生産学部1年次のみです。

寮生の1日スケジュール:

- 7:00 起床
- 8:00 朝食
- 8:30 登校
- 1~2時限目
- 12:10 昼食
- 3~4時限目
- 16:30 サークル活動
- 18:00 夕食
- 19:00 入浴・自習
- 22:00 点呼
- 23:00 消灯就寝

男子寮 (写真: 男子寮生が階段で集合)

女子寮 (写真: 女子寮生が集合)

寮内設備: 男子寮の机と椅子、女子寮のベッド、浴室の浴槽。

Campus Life

- 4月 入学式
春季校内スポーツ大会
- 6月 オープンキャンパス
期末試験(前期)
- 8月 夏期休暇
1年先進的经营体実習
第1回いちご学科入試
- 10月 校内意見発表会
秋季校内スポーツ大会
推薦入試 農大祭
- 12月 第2回いちご学科入試
一般前期入試 卒論発表会
期末試験(後期)
- 2月 一般後期入試 第3回いちご学科入試
卒業式



栃木県農業大学校 〒321-3233 栃木県宇都宮市上籬谷町1145-1
 TEL 028-667-0711(代)
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g63/index.html> E-mail:noudai-jimubu@pref.tochigi.lg.jp

- 【関東バス】
JR宇都宮駅西口14番のりば 益子駅前行き 真岡営業所行き(橋場経由のみ)
- 【車】
JR宇都宮駅東口から30分
宇都宮上三川ICから20分
真岡ICから15分
- 【LRT】 2023.8 開業予定
「清陵高校前」下車 徒歩20分

